



第50週の発生動向 (2004/12/6~2004/12/12)

- 手足口病については、先週に引き続き、**八戸保健所管内**において警報が出されています。
- インフルエンザについては、上十三保健所管内において患者報告があり(迅速診断によりA型:19人、B型:1人)今後の動向に注意が必要です。
- 感染性胃腸炎については、五所川原、むつ保健所管内を除く地域で患者報告数が増加しました。特に弘前保健所管内では前週30人から104人へと急増したため、他の地域についても注意が必要です。

第50週五類感染症定点把握

保健所名 疾患番号・疾患名	青森		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数 (前週からの増減)
	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	
(72) インフルエンザ									20	2.22			20	0.31	19
(60) 咽頭結膜熱			1	0.10									1	0.02	1
(61) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	12	1.50	30	3.00	4	0.44	3	0.60	12	2.00	6	1.50	67	1.60	4
(62) 感染性胃腸炎	58	7.25	104	10.40	9	1.00			29	4.83	27	6.75	227	5.40	77
(63) 水痘	13	1.63	6	0.60	14	1.56	9	1.80	12	2.00	14	3.50	68	1.62	-29
(64) 手足口病					27	3.00	1	0.20	12	2.00	6	1.50	46	1.10	-50
(65) 伝染性紅斑			3	0.30	1	0.11							4	0.10	±0
(66) 突発性発疹	3	0.38			6	0.67	3	0.60	5	0.83	2	0.50	19	0.45	4
(67) 百日咳															
(68) 風疹															-1
(69) ヘルパンギーナ	3	0.38											3	0.07	-1
(70) 麻疹(成人を除く)															
(71) 流行性耳下腺炎	5	0.63			7	0.78	3	0.60					15	0.36	-5
(73) 急性出血性結膜炎															
(74) 流行性角結膜炎							1	1.00	1	0.50			2	0.18	-5

	定点数			
	インフル エンザ	小児科	眼科	基幹
青森	13	8	2	1
弘前	15	10	3	1
八戸	14	9	2	1
五所川原	7	5	1	1
上十三	9	6	2	1
むつ	6	4	1	1
合計	64	42	11	6

インフルエンザ定点については、内科定点と小児科定点を合わせたものです。

■ は注意報、■ は警報です。「空欄」:患者発生数0

表 以外の感染症法対象疾患 (16年計には、今回届出された人数を含む)

- (59) RSウイルス感染症(五類定点把握疾患) 弘前保健所:2人、五所川原保健所:1人 (16年計 94人)
 (82) マイコプラズマ肺炎(五類定点把握疾患) 八戸保健所管内:2人 (16年計 110人)

病原体検出情報

五所川原保健所管内の12月3日採取の感染性胃腸炎患者材料からノロウイルス Genogroup が、弘前保健所管内の11月3日、12月6日、9日、10日、11日採取の感染性胃腸炎患者材料からノロウイルス Genogroup が検出されています。

感染症の窓

レジオネラ症

(Legionellosis)

表1 潜伏期間と臨床症状

	潜伏期間	臨床症状
レジオネラ肺炎	2~10日	高熱、乾性咳嗽、喀痰を主症状とする肺炎。初期症状は乾性咳嗽、後に膿性痰、血性痰等。四肢の振戦等神経症状。
ポンティアック熱	1~2日	突然の発熱、悪寒、頭痛、筋肉痛などで発症。感冒様症状。

	平成15年	平成16年
青森県	0	0
岩手県	1	0
宮城県	9	3
秋田県	2	0
山形県	15	5
福島県	6	2

図1 過去2年間における東北六県の発生報告数

病原体:レジオネラ属菌が原因で、現在49種知られています。代表的な菌種が *Legionella pneumophila* です。

疫学:本来土壌や環境の水(温泉水、循環風呂、冷却塔水、プール、噴水)などに分布しています。

臨床症状:病型にはレジオネラ肺炎とポンティアック熱があります(表1)

感染経路・予防:本菌を含むエアロゾルの吸入や、汚染水の誤飲により経気道感染します。ヒトからヒトへの感染はありません。健康な人での発症はまれで、幼児や高齢者、あるいは入院患者等の免疫力の低下した人が罹患しやすいので注意が必要です。

患者報告状況:本県では近年、感染の報告はありませんが、他都道府県では患者数が報告されています(図1)